利根中央病院学術活動

【 学術分野著書・学術論文・学会発表・研究会発表・講演・シンポジウム 】

(民医連・生協内発表を含む)

2024年4月1日~2025年3月31日

Review of 2024

医療圏唯一の総合病院として地域に根差した医療を提供するとともに、 基幹型研修病院として次世代の育成にも力を入れています。

7/6スキルアップセミ

おき とって隠岐の外来超音波診療

ハンズオンセミナー~



白石 吉彦 島根大学医学部附属病院 総合診療医センター長



渡部 健 市立角館総合病院 総合診療科









参加者の 感想

肺エコーのやり方や、 pocusという概念を学ぶ ことができた。今後積極 的にエコーを勉強したい というモチベーションに 繋がった。 (医学科5年)

肺・症例数の多い尿路結 石の見方など知らない部 分を学ぶことができ今後 の救急対応に役立てたい。 (医学科6年)

肋骨骨折がエコーで見ら れるのを始めて知り、選 択肢が拡がった。エコー のハードルが下がった。 (初期研修医)

10/26-27闘魂外来&闘魂祭

指導医の監督の下、医学生が実際の患者さんに 問診から説明までの一連の流れを行う外来実習



徳田 安春 先生 群星沖縄臨床研修センター センター長



川島 篤志 先生 市立福知山市民病院 総合内科



関口 健. 信州大学/市立大町総合病院 総合診療科



隆太郎 先生 谷崎 市立伊勢総合病院 総合診療科







地域から学ぶSDH・SDGs・BPS 〜地域生活体験研修〜

患者の心理社会的背景を理解した診療を行う ことの意義を学び、日常診療において実践で きることを目標としたカリキュラム













【研修医のレポートより】



野菜の育て方の大変さについてや、花豆の農作業の経験についてなどを実際の患者さんとお話ししたことがあった。普段元気がなく食事量も少ない患者さんが、野菜の話になるとよく話し笑顔が見え、さらに食事の箸も進んだという経験があり、今回の研修での学びを活かせたなと実感した。

患者さんの生活背景を考えることの重要性を学ぶ事ができた。農家であれば、画一的な熱中症対策では予防とならないこと、認知機能低下での免許返納は仕事を失うことになること、腰痛は避けられない疾病であり上手に付き合っていく必要があることなどを学ぶ事ができた。

SDGsカードゲームから、「SDGs17項目は互いに完全に独立しているのではない。ある一つの問題を解決し、発展させていくためには経済、環境、社会それぞれの課題を同時並行で解決しないと何一つ達成できない」ことを学べた。我々医師も医療の何らかの課題を解決したいと考えた際、他分野にも目を向ける必要がある。

山間部の高齢者がどうしても孤立しやすい事情も理解できるようになった今、受診をきっかけとして、 福祉や介護サービスといった社会支援に繋げながら、できる限り望む生活が送れるようにサポートす ることが医療の役割の1つであると思えるようになった。



【著書】

 レジデントノート 4 月号「PICC」 羊土社 2024 年 4 月 1 日発行 熊倉 裕二

2. レジデントノート増刊号 「小外科手術」

羊土社 2024年6月10日発行

熊倉 裕二

3. げんだい養生訓 15 巻 2 号 「めまいについて」

カイ書林 2024年6月

比嘉 研

4. レジデントノート増刊 「臨床医なら必修!外科・手術のキホン」

羊土社 26(5) 2024 年

郡 降之

5. がん患者診療のための栄養治療ガイドライン 2024 年版 総論編 日本栄養治療学会編 金原出版 2024 年 9 月 30 日

郡 降之

6 がん患者診療のための栄養治療ガイドライン 2024 年版 総論編 日本栄養治療学会編 金原出版 2024 年 9 月 30 日

小林 克巳

7. 研修医の基本手技 10 成功の秘訣・失敗しないポイント 腹腔鏡下手術におけるドライボックストレーニング 失敗回避の要点 (解説)

レジデントノート (1344-6746)26 巻 1 号 Page90-100(2024.04)

小松 央憲

【学術論文(国際)】

1. Ultrasonography of the median nerve before removal of anterior locking plates from the distal radius.

J Hand Surg Eur Vol. 2024 Sep 28:17531934241280184.

doi:10.1177/17531934241280184. PMID: 39340258

Hosokawa T, Tajika T, Suto M, Nagashima T, Arisawa S, Chikuda H.

2. Impact of Possible Sarcopenia and Nutritional Status on Postoperative Quick Disabilities of the Arm, Shoulder, and Hand Score in Geriatric Women With Distal Radius Fracture.

J Hand Surg Am. 2024 Aug 12:S0363-5023(24)00313-7. doi:10.1016/j.jhsa.2024.07.007. PMID: 39140919

Hosokawa T, Tajika T, Suto M, Honda A, Chikuda H.

3. Prospective Survey of Postoperative Pain in Japan: A Multicenter, Observational Study. J. Clin. Med. 2025, 14, 1130

Masaki Kaibori, Takayuki Kohri, et al.

4. Japan initiates a groundbreaking market test of over-the-counter emergency contraceptive pills with pharmacies as a first access point. BMJ Sex Reprod Health. 2024 Jul 12;50(3):230-231. doi: 10.1136/bmjsrh-2024-202221. PMID: 38569744.

Hakariya H, Hashimoto T, Suzuki Y, Hamaki T, Tanimoto T.

5. Development of a Personalized and Simplified Ovarian Cystectomy Practice Tool. Gynecol Minim Invasive Ther. 2025 Feb 27;14(1):94-95. doi: 10.4103/gmit.gmit_12_24. PMID: 40143985; PMCID: PMC11936397.

Komatsu H, Chikazawa K, Matsumoto A, Kagami I.

【学術論文(全国)】

1. 持続的血液透析濾過用の多用途血液処理用装置を用いて間欠的に超低効率で維持透析を施行した COVID-19 の 6 例

HDF 療法 '24 (腎と透析 97 巻 別冊 2024) 2024 年 8 月 30 日発行 (㈱東京医学社 伍井 友哉、岡部 智史、大塚 瑛公、鈴木 諭、田部井彬史、渡辺 光治、関原 正夫

2. 小児橈骨遠位部骨折に対する掌側 plate 固定の治療成績

骨折 2024. 46 巻 3 号 817-821

岡田 純幸、細川 高史、中島 大輔、筑田 博隆

3. 65 歳以上の橈骨遠位端骨折の QuickDASH スコアの成績不良と関連する因子は何か?

日本手外科学会雑誌 2025.38巻6号

岡田 純幸、細川 高史、筑田 博隆

4. Group B Streptococci を起因菌とするきわめてまれな骨内骨格筋に発生した化膿性筋炎の一例 臨床整形外科 2025. 76 巻 1 号 39-42

岡田 和也、細川 高史、高橋 佑、須藤 執道、筑田 博隆

5. 精神疾患と精神医療を実感できる医学生臨床実習

精神科治療学 Vol.39 No.10, 1119-1126

2024年10月1日 星和書店

福田 正人、小野 樹郎、藤平 和吉

6. 発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、知的能力障害)

ペリネイタルケア 第 43 巻 12 号, 1263-1271

2024年12月1日 メディカ出版

藤平 和吉

【学会発表・研究会(国際)】

1. Ultrasonography Investigation of Median Nerve Location and Morphology Before Volar Locking Plate Removal for Distal Radius Fractures.

2025 AAHS Annual Meeting.

Hosokawa T

【学会発表・研究会(全国)】

1. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート抜釘時の正中神経の位置と形態の調査 第 67 回日本手外科学会学術集会 2024 年 4 月 25 日~ 26 日 奈良県コンベンションセンター JW マリオット・ホテル奈良

細川 高史

2. 高齢女性の橈骨遠位端骨折術後機能成績に対する possible sarcopenia と栄養状態の影響 第 97 回日本整形外科学会学術集会 2024 年 5 月 25 日 マリンメッセ福岡 A 館 細川 高史

- 3. 性的マイノリティ初学者が医師向け学習プログラム受講後に実施した講演活動の報告 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 7 日~ 9 日 浜松 比嘉 研
- 4. 医療者が行うアートセラピー活動について ~似顔絵は笑顔の処方箋~ 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 7 日~9 日 浜松 小野 優里
- 5. 先天性食道閉鎖症根治術後に留置された持続吸引チューブが気管内に迷入した新生児の一例 第60回日本周産期・新生児医学会 2024年7月13日~15日 大阪国際会議場 清水 佑基
- 6. 『教育の現場で遭遇する性的指向・性自認(SOGI)をめぐる難しさ、もやもやをシェア(共有)しよう: LGBTQ 当事者を支える学び』

日本医学教育学会 2024年8月9日 帝京大学(東京) 吉田絵理子、比嘉 研、他

- 7. 『今さら聞けない LGBTQ+』ワークショップ 第 21 回日本プライマリ・ケア連合学会 秋季セミナー 2024 年 9 月 15 日 大阪科学技術館(大阪) 比嘉 研
- 8. 腸瘻造設後肛門側腸管に壊死性腸炎を発症した長域型 Hirschsprung 病の一例 第 127 回日本小児科学会学術集会 2024 年 4 月 19 日~ 21 日 ヒルトン福岡シーホーク 土橋 里美
- 9. ナッツ類アレルギーの関与が疑われる重症急性膵炎の一例 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会 2024年10月4日~6日 コングレスクエア日本橋 木村 優也、五十嵐淑子、齋藤 淑人、西澤 拓哉、八木 龍介、羽鳥 麗子、龍城真衣子、石毛 崇、滝沢 琢己
- 10. 30 回の高気圧酸素療法により良好な神経学的予後を得られた急性一酸化炭素中毒の 1 例 日本救急医学会 2024 年 10 月 13 日 仙台国際センター 森 瑞樹
- 11. 『長年続いていた耳鳴に香蘇散が効果的であった症例』 日本東洋医学会 第80回 関東甲信越支部 学術総会 2024年10月27日 昌賢学園まえばしホール (前橋) 比嘉 研
- 12. 85 歳以上の超高齢者における消化器外科手術の病院での周術期管理の工夫 第 37 回日本外科感染症学会総会学術集会 2024 年 11 月 8 日~ 9 日 東京浅草ビューホテル 熊倉 裕二
- 13. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群における乳癌発見の契機 第 34 回日本乳癌検診学会学術総会 2024 年 11 月 29 日~ 30 日 G メッセ群馬 宇佐美千晴
- 14. 胸膜発生のメトトレキセート関連リンパ増殖性疾患の1例(ポスター) 第41回日本呼吸器外科学会学術集会 2024年5月31日~6月1日 軽井沢 郡 降之
- 15. イディアルボタン ZERO がもたらす胃ろう地域連携の NEXT STEP (ランチョンセミナー)第 28 回 PEG・在宅医療学会学術集会 2024年9月16日 別府郡 降之

16. 3次救急医療施設との救急外来電子カルテ情報共有システムの構築と運用(一般口演) 第28回日本遠隔医療学会学術大会 2024年11月9日~10日 岡山 郡 降之

17. 腸管魚骨穿通による腹腔内膿瘍に対して膿瘍摘出及び洗浄を行い軽快した一例 第60回日本腹部救急医学会総会 2024年3月21日~22日 北九州 加藤 雅也、岩崎 竜也、鹿野 颯太、熊倉 裕二、小林 克巳、郡 隆之、関原 正夫

18. 虫垂憩室穿通による虫垂間膜膿瘍を術前診断し、治癒し得た一例 第60回日本腹部救急医学会総会 2024年3月21日~22日 北九州 中村 寛泰、熊倉 裕二、岩﨑 竜也、鹿野 颯太、小林 克巳、郡 隆之、関原 正夫

19. 当院 NST リンクナースの NST 回診への出席率・意識向上のための取り組み 第 40 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2025 年 2 月 14 日~ 15 日 横浜 森下 光、小林 克巳、郡 隆之、諸田 梢

20. 大腿骨頚部骨折を受傷した患者のリハビリ栄養の経験~透析療法に合わせた栄養介入の経験~ 第 40 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2025 年 2 月 14 日~ 15 日 横浜 七五三木史拓、郡 隆之、小林 克巳、諸田 梢

21. 腹腔鏡下仙骨腔固定術 (LSC) 後に外子宮口から異物が排出された一例

第26回日本女性骨盤底医学会

2024年8月3日~4日 パシフィコ横浜

小松 央憲、尾崎 裕太、浦部 夢子、宮川 恒介、橋本 啓、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈慧杏、 糸賀 俊一

22. 新・卵巣嚢腫摘出モデルを再考する - 空へ

第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

2024年9月12日~14日 都市センターホテル

小松 央憲

小松 央憲

23. 腹腔鏡下手術におけるセプラフィルムを有効に入れるための新たな方法 -Motonari Method 第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2024 年 9 月 12 日~ 14 日 都市センターホテル

24. vNOTES ならではの骨盤臓器脱に対して有効と思われる手技 - 可視化と高い位置での吊り上げ 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2024年9月12日~14日 都市センターホテル

浦部 夢子

25. 上行結腸癌術後で腸管癒着が疑われたため、vNOTES が良い選択肢であったと考えられた骨盤臓器脱手 術の一例

第39回日本女性医学学会学術集会

2024年11月9日~10日 ライトキューブ宇都宮

小松 央憲、浦部 夢子、鈴木 陽介

26. 閉経後かつ円錐切除後による子宮頸管狭窄例に対し、vNOTES による子宮全摘出が有効であった一例 第 39 回日本女性医学学会学術集会

2024年11月9日~10日 ライトキューブ宇都宮

浦部 夢子、小松 央憲、宮川 恒介、橋本 啓、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈 慧杏、糸賀 俊一

27. 子宮鏡下手術を行う医師就任による施設の影響について 第69回日本生殖医学会学術講演会・総会 2024年11月14日~15日 ポートメッセなごや 小松 央憲

【学会発表・研究会(地方)】

- 1. 当院における骨盤臓器脱治療の変遷 第 147 回関東連合産婦人科学会総会・学術集会 2024 年 6 月 14 日~ 16 日 東京 中村 寛泰
- 2. 長期間のインターフェロン α の投与中に発症したループス腎炎の一例 第 54 回日本腎臓学会東部学術大会 2024 年 9 月 29 日 ライトキューブ宇都宮 大塚 瑛公
- 3. 『長年続いていた耳鳴に香蘇散が効果的であった症例』 日本東洋医学会 第80回 関東甲信越支部 学術総会 2024年10月27日 昌賢学園まえばしホール(前橋) 比嘉 研
- 4. 母性衛生に活かす発達障害の基礎知識 特に周産期と子育て場面で 令和 6 年度群馬県母性衛生学会研究集会 2024 年 12 月 14 日 群馬大学医学部ミレニアムホール藤平 和吉
- 5. 外傷性母指 CM 関節脱臼: 非常に希な尺側脱臼の 1 例 第 39 回東日本手外科研究会 2025 年 2 月 22 日 北海道立道民活動センター かでる 2·7 細川 高史
- 6. セフトリアキソンによる偽胆石形成から急性胆管炎に至った一例 第 703 回関東地方会 2025 年 3 月 8 日 東京国際フォーラム 高岡 凌太、深井 泰守、AUNG PAING MOE、井上錬太郎、山田 俊哉
- 7. 保存的加療で改善した柿胃石による腸閉塞の 1 例 第 703 回内科学会関東地方会 2025 年 3 月 8 日 東京 井上 錬太郎、山田 俊哉、深井 泰守、AungPaingMoe
- 8. HCU 入院直後より早期栄養介入し褥瘡の改善に繋がった症例 第10回日本臨床栄養代謝学会関越支部 2024年6月9日 高崎 石坂 薫、小林 克巳、諸田 梢、森下 光、七五三木史拓、松本 厚子、郡 隆之
- 9. 嚥下調整食改善チームの立ち上げから現在までの取り組み 第 10 回日本臨床栄養代謝学会関越支部 2024年6月9日 高崎 櫻井 万幾、小林 克巳、大川 達也、生方 利奈、金子 麻佳、原澤 陽二、林 茂宏、 根津えり子、林 和代、諸田 梢、郡 隆之
- 10. 当院における早期栄養介入管理加算の取り組みについて 第10回日本臨床栄養代謝学会関越支部 2024年6月9日 高崎 千吉良萌美、小林 克巳、熊倉 裕二、諸田 梢、原澤 陽二、林 和代、櫻井 万幾、 町田 恵美、根津えり子、林 茂宏、森下 光、七五三史拓、郡 隆之
- 11. 関節適合性が得られなかった複合性射関節脱臼骨折 (CEI) の 2 例 第 2 回 群馬手外科研究会 2025 年 細川 高史
- 12. 腹腔鏡手術子宮全摘術前に漿膜下筋腫と思われたが広間膜内発育であった巨大子宮筋腫に対し、尿管ス

テント留置が有用であったと考えられる一例

第 182 回群馬産科婦人科学会・群馬県産婦人科医会集談会 2024 年 6 月 8 日 群馬メディカルセンター

宮川 恒介、小松 央憲、浦部 夢子、橋本 啓、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈慧杏、 糸賀 俊一

13. 閉経後かつ円錐切除後による子宮頸管狭窄例に対し、vNOTES による子宮全摘出が有効であった一例 第 182 回群馬産科婦人科学会・群馬県産婦人科医会集談会 2024 年 6 月 8 日 群馬メディカルセンター

浦部 夢子、小松 央憲、宮川 恒介、橋本 啓、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈慧杏、 糸賀 俊一

14. 当院における骨盤臓器脱治療の変遷

第 147 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 2024 年 6 月 15 日~ 16 日 都市センターホテル

中村 寛泰、小松 央憲、尾崎 佑太、朝比奈慧杏、鈴木 陽介、糸賀 俊一

15. 腟断端脱・直腸脱の同時発症を契機に卵巣癌を発見した一例 第 147 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 2024 年 6 月 15 日~ 16 日 都市センターホテル

尾崎 佑太、小田 洋樹、鹿野奈津美、西出 麻美、鈴木 陽介、平川 隆史、糸賀 俊一

16. 当院における腹腔鏡下手術時の器具破損の2症例

第 183 回群馬産科婦人科学会・群馬県産婦人科医会集談会 2024 年 10 月 5 日 群馬メディカルセンター

宇佐美 千晴、小松 央憲、宮川 恒介、浦部 夢子、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈慧杏、 糸賀 俊一

17. 漿膜下筋腫と思われたが広間膜内発育であった子宮筋腫に対し、尿管ステント留置が有用であった一例 第 148 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 2024 年 10 月 19 日~ 20 日 ホテルブエナビスタ

宮川 恒介、小松 央憲、浦部 夢子、橋本 啓、西出 麻美、鈴木 陽介、朝比奈慧杏、 糸賀 俊一

18. 著明な子宮偏位により子宮体部細胞診・組織診で悪性所見が検出されず TCR ではじめて診断できた子宮体癌の1例

第 184 回群馬産科婦人科学会・群馬県産婦人科医会集談会 2025 年 2 月 1 日 群馬メディカルセンター 浦部 夢子

【講演・シンポジウム】

 LGBTQ フレンドリーな医療機関の実践 ~アライとしての一歩を踏み出そう~ J-HPH ネットワーク スプリングセミナー ワークショップ 2024年4月20日 オンライン

比嘉 研

2. 『にじのかけはし』を深める

北九州民医連 健和会 新入職員向け学習会 2024年6月5日 福岡民医連 健和会本部 (小倉) 比嘉 研 3. 性的マイノリティの働き方をケアする《前編》 産業医研修セミナー 2024年7月9日 群馬県市町村会館(前橋)

比嘉 研

4. 性的マイノリティの働き方をケアする《後編》

産業医研修セミナー 2024年8月6日 群馬県市町村会館(前橋)

比嘉 研

5. 性的マイノリティ

北九州民医連 健和会 職責者向け学習会 2024年9月18日 オンライン

比嘉 研

6. 性的マイノリティ

北九州民医連 健和会 職責者向け学習会 2024年9月25日 岡民医連 健和会本部(小倉)

比嘉 研

7. 性的マイノリティを取り巻く「問題」は「性の問題」ではない《前編》

Dr.'s Prime Academia 2024年10月4日 オンライン

比嘉 研

8. 性的マイノリティを取り巻く「問題」は「性の問題」ではない《後編》

Dr.'s Prime Academia 2024年10月11日 オンライン

比嘉 研

9. 出展

ぐんまレインボープライド 2024年10月6日 前橋

比嘉 研

10. 職場での性的マイノリティのケア

前橋市医師会 産業衛生委員会 2024年11月7日 前橋市総合福祉会館(前橋)

比嘉 研

11. メディアとの付き合い方

保健講話 2024年11月22日 沼田市立川田小学校(沼田)

比嘉 研

12. 診療看護師に求められる PICC 挿入技術 - 研修医指導の経験から-

第 10 回日本 NP 学会学術集会 ランチョンセミナー 2024 年 11 月 22 日~ 23 日 東京・赤坂 熊倉 裕二

13. 性的マイノリティ (LGBTQ+) へのケア 実践編

Dr.'s Prime Academia 2024年12月24日 オンライン

比嘉 研

14. 早期 ACP の意義、腫瘍循環器リハビリテーション (CORE) の導入

13th Gunma Prevent 2025 年 1 月 21 日 ホテルサンダーソン

山口 実穂

15. 性別って2つしかないと思いますか?

栃木・群馬合同 ポートフォリオ合宿 2025年2月15日 松乃井(水上)

比嘉 研、外松 慶土

16. 沼田利根エリアでの在宅医療の現状

沼田利根薬剤師会 2025年2月27日 ホテルベラヴィータ

渡邉 健太

17. 医学部進学と医師の仕事

桐生高校 2025年3月12日 桐生高校(桐生)

比嘉 研

18. メディアと上手に付き合うために ~見直そう、今の生活~ 多那小中学校 学校保健委員会

森 瑞樹

19. 心肺蘇生法について

沼田西中学校 2024年12月4日

森 瑞樹

20. 心肺蘇生法について

沼田南中学校 2025年2月4日

森 瑞樹

21. 児童・思春期世代のメンタルヘルスについて

群馬県児童思春期勉強会「やまどり」 2024年5月20日 WEB

藤平 和吉

22. 改めて考える「職場のメンタルヘルス」

沼田市立沼田東小学校 職場の健康づくり支援事業 2024年6月10日

沼田市立沼田東小学校

藤平 和吉

23. 高校生の「死にたい」への理解と対応

群馬県立伊勢崎清明高等学校 職員研修会 2024年6月14日

群馬県立伊勢崎清明高等学校

藤平 和吉

24. 子どものメンタルヘルスー学校保健と特別支援教育の視点からー

吾妻郡学校保健会 研修会 2024年8月6日 中之条ツインプラザ

藤平 和吉

25. 発達障害-周産期支援に活かすための基礎知識

東京大学シフラの会 2024年8月20日 WEB

藤平 和吉

26. 子どもたちの"自己存在"を支える-「価値精神医学」の視点から-

不登校を考えよう『みんなの居場所 Uchi サポ』講演会 2024年9月14日

沼田市白沢地区コミュニティーセンター

藤平 和吉

27. 教職員のためのメンタルヘルス

群馬県教育委員会 養護教諭 初任者および 10 年目研修 2024 年 10 月 8 日

群馬県総合教育センター

藤平 和吉

28. 特別支援教育に活かす精神医学の最近の知見-子どもたちの「何」を支えるのか

第49回関東甲信越地区特別支援学校 知的障害教育校長会総会 2024年10月25日 エテルナ高崎

藤平 和吉

29. ゲーム (メディア) との上手な付き合い方を考えよう

みなかみ町立水上小学校 第2回学校保健委員会 2024年11月20日

みなかみ町立水上小学校

藤平 和吉

30. 子育でに活かす精神医学の基礎知識 - 発達障害を話題にしながら - 沼田市小中学校 PTA 連合会研修会 2024 年 11 月 27 日 沼田市役所藤平 和吉

31. 高校生のメンタルヘルスと医療機関との連携 について

群馬県高等学校教育研究会 教育相談部 北部地区研修会 2024年11月27日 群馬県立沼田女子高等学校

藤平 和吉

32. 心を知ろう-困難に負けない心-

沼田市立池田中学校 第2回学校保健委員会 2024年12月2日 沼田市立池田中学校

藤平 和吉

- 33. いろいろな見方や考え方ができるようになるためのコツー自分を知るために一沼田市立薄根中学校「こころの教室」 2024年12月16日 沼田市立薄根中学校藤平 和吉
- 34. 研修医のメンタルヘルスケア

令和 6 年度 群馬県臨床研修指導医養成講習会 2025 年 1 月 25 日 群馬大学医学部附属病院

藤平 和吉

- 35. "ちょっと気になる"患者さんやご家族の対応-発達障害特性に配慮して-第 29 回伊勢崎地域緩和ケアネットワーク研修会 2025 年 2 月 7 日 伊勢崎市民病院 藤平 和吉
- 36. 児童生徒の「死にたい」への理解と対応

利根沼田保健福祉事務所 令和6年度保健師向け第4回事例検討会

2025年2月10日利根沼田保健福祉事務所

藤平 和吉

- 37. 精神科から見た緩和ケアー抑うつ、せん妄と"その先にあるもの"ー 令和6年度 利根沼田がん薬物療法薬薬連携研修会 2025年3月12日 利根中央病院研修室 藤平 和吉
- 38. 発達障害の理解と支援-実践編-

令和6年度 群馬県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

2025年3月23日 群馬県社会福祉総合センター

藤平 和吉

- 39. 職場のメンタルヘルスを考える 東吾妻町ゲートキーパー研修会 2025 年 3 月 24 日 東吾妻町役場 藤平 和吉
- 40. 製薬企業から医療界への第三者機関を通じた資金提供:事例検討

製薬マネーデータベース一般公開シンポジウム

2024年4月13日 ウェビナー (Zoom)

鈴木 陽介

41. お医者さんに聞いてみよう!生理のこと、カラダの不調のこと、HPV ワクチンのこと 産婦人科・総合診療科ミニセミナー

2024年8月10日 利根中央病院

浦部 夢子

42. 日本産婦人科超音波学会 (JSUOG) 第6回超ベーシックサマーセミナー 2024年8月10日 ウェビナー (Zoom)

鈴木 陽介

43. 学会賞講演『ワンハンドスリップノットの再考 - 成功率を上げるために「予め入れておく」-』 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2024年9月12日~14日 都市センターホテル

小松 央憲

【座長・その他】

1. 森 瑞樹:座長

第 30 回群馬県救急医療懇談会

2024年9月29日 群馬大学医学部 (昭和キャンパス)

2. 郡 隆之:座長

日本栄養治療学会 第 10 回関東支部学術集会 シンポジウム:早期栄養介入管理加算の現状と今後の課題 2024年6月9日 前橋

3. 郡 隆之:座長

第 28 回日本遠隔医療学会学術大会 一般演題 8 「制度・社会保障」 2024 年 11 月 9 日~ 10 日 岡山

4. 郡 隆之:座長

第 39 回日本栄養治療学会学術集会 一般演題 06 「周術期の栄養管理 6」 2025 年 2 月 14 日~ 15 日 横浜

5. 小林 克巴:座長

第 36 回群馬ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 2025 年 3 月 15 日 前橋

6. 近藤 誠:シンポジスト

循環器懇話会あおもり

どこまでできるか民医連の循環器 2.0 ~多職種協働で挑む後継者の確保と養成~ 2024 年 11 月 22 日~ 23 日 リンクステーションホール青森

7. 近藤 誠:演者

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター ACP 研修会いきかたノートの実践

2025年3月17日 群馬大学医学部臨床中講堂

8. 近藤 誠:座長

沼田利根地区地域連携学術講演会

超高齢化社会における抗血栓療法の注意点 - 胃潰瘍再発抑制の重要性 -演者 石井秀樹 先生 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 循環器内科学分野 教授 2024年6月4日 web 講演会

9. 近藤 誠:座長

利根沼田医師会症例検討会

2024年7月9日 利根中央病院

10. 近藤 誠:座長

沼田利根地区 地域連携学術講演会

心腎連関を考慮した心不全治療戦略~ SGLT2 阻害剤の意義~

演者 高間典明 先生 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座

循環器内科学分野 准教授

2024年12月3日 web 講演会

11. 近藤 誠:座長

13th Gunma Prevent

Basic Lecture「早期 ACP の意義、腫瘍循環器リハビリテーション (CORE) の導入」

演者 山口実穂 先生 利根中央病院 循環器内科医長

2025年1月21日 Web

【その他 (民医連・生協内)】

1. 低容量ステロイド長期内服中の患者に発症した院内肺炎からニューモシスチス肺炎の診断に至った一例 第5回救急・総合診療研究会学術集会 2025年1月25日~26日 とよみ生協病院、沖縄協同病院

髙岡 凌太、中村 元保、渡邉 健太、捧 博人、片山 理智、鈴木 諭

2. 緊急 ACP を通して学ぶ、患者と患者家族に「寄り添う」選択の提案

2024年度臨床研修報告会 2025年3月15日 利根中央病院 他

加藤 雅也

3. 転移性心臓腫瘍をきたした原発性肺癌の一例

第257回臨床病理検討会 2025年3月17日 利根中央病院

加藤 雅也

4. 今後の高崎中央病院で取り組むべきこと

高崎中央病院 倫理委員会 学習会 2024年4月18日 高崎中央病院(高崎)

比嘉 研

5. 出展

東京レインボープライド 2024年4月19~21日 代々木公園 (東京)

全日本民医連 SOGIE コミュニティ(比嘉 研)

6. 性的マイノリティ講座

群馬民医連看護奨学生向け学習会 2024年6月15日 群馬民医連(前橋)

比嘉 研

7. 高崎中央病院での『性的マイノリティに関する学習会』

J-HPH News Letter 2024年6月20日

比嘉 研

8. ユマニチュード

高崎中央病院 倫理委員会 学習会 2024年7月18日 高崎中央病院(高崎)

比嘉 研

9. 『性的マイノリティを取り巻く「問題」は「性の問題」ではない』 初期研修医 セカンドミーティング 2024 年 10 月 11 日 オンライン 比嘉 研

10. 意思決定と ACP

初期研修医 レジデントデイ 2024年10月11日 利根中央病院(沼田)

比嘉 研

11. 性的マイノリティに関する講演活動の報告

第60回群馬民医連学術集談会 2024年11月10日 Gメッセ(高崎)

比嘉 研

12. 2022 年以降の倫理委員会の活動報告

高崎中央病院 倫理委員会 2024年12月19日 高崎中央病院(高崎)

比嘉 研

13. メディアが健康に及ぼす影響について

利根の保健(寄稿) 2025年1月 高崎中央病院(高崎)

比嘉 研

14. 「2024 年度 高崎中央病院は自分や家族がかかりたい病院ですか?」アンケート結果の分析と今後の高崎中央病院について

高崎中央病院 倫理委員会

比嘉 研

15. 群馬民医連 第60回学術集談会

2024年11月10日 Gメッセ群馬

森 瑞樹

16. 指定報告「国連女性差別撤廃条約総括所見の解説」

全日本民医連第10回産婦人科医師交流会

2025年2月8日 ウェビナー(Zoom)

鈴木 陽介